

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
新井正美 中村清吾 青木大輔 櫻井晃洋 他		がん対策推進 総合研究事業 「わが国にお ける遺伝性乳 癌卵巣癌の臨 床遺伝学的特 徴の解明と遺 伝子情報を用 いた生命予後 の改善に関す る研究」研究 班	「遺伝性乳癌卵 巣癌症候群 診 療の手引き」	金原出版	東京	2017 刊 行予定	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Masuda K, Hirasawa A, Irie-Kunitomi H, Akahane T, Ueki A, Kobayashi Y, Yamagami W, Nomura H, Kataoka F, Tominaga T, Banno K, Susumu N, Aoki D.	Clinical utility of a self-administered questionnaire for assessment of hereditary gynecologic cancer.	Jpn J Clin Oncol	In press	In press ( <a href="https://doi.org/10.1093/jjco/hyx019">https://doi.org/10.1093/jjco/hyx019</a> )	2017
Tozaki M	Ductal carcinoma in situ detected during prospective MR imaging screening of a woman with a BRCA2 mutation: The first case report in Japan.	Magn Reson Med Sci.	In press		2017
新井正美, 大住省三, 中村慎吾.	日本HBOCコンソーシアムの活動状況	臨床病理レビュー	特集157号	9-17	2016
新井正美.	婦人科腫瘍の遺伝診療：我が国におけるHBOCデータベース整備への取り組み	産婦人科の実践	65(6)	695-700	2016
平沢 晃, 青木大輔.	遺伝性乳がん卵巣がん；遺伝性腫瘍-実地臨床での対応を目指して	日本医師会雑誌	145(4)	705-709	2016
平沢 晃, 青木大輔.	バイオリソースを用いた研究基盤整備に関する国内外の動き；婦人科がん治療の基軸.	産科と婦人科	83(1)	13-19	2016